

—あつまる・つくる・つながる—

る・る・るニュースレター

タイトルは、参加者のみなさんからいただいた案の中から投票によって決定しました！

「新施設開館後の関わり方」を考えよう！

世田谷区では新しい本庁舎と同じ敷地に、世田谷区民会館（ホール、練習室、集会室等）や区民交流スペース、広場、屋上庭園等からなる「区民利用施設」の整備を進めています。

「区民利用施設」の運営に関する基本的な考え方をまとめた総合運営計画の策定に向け、令和5年1月22日(日)に第3回「新しい本庁舎等における区民利用施設の運営を考える区民ワークショップ」を世田谷区役所第三庁舎ブライトホールにて開催しました！前回に引き続き幅広い世代の方、計15名にご参加いただきました。

全3回のワークショップの最終回として、今回は「新施設開館後の関わり方を考えよう！」をテーマに、「区民利用施設にどのように関わっていきたいですか？」「区民参加を促進するにはどのような仕組みがあったら良いでしょうか？」「令和7年度のグランドオープン前に取り組んでおくことはありますか？」という3つの問いについて検討していただきました。

このニュースレターでは、当日のワークショップの様子や、いただいたご意見をお伝えします！



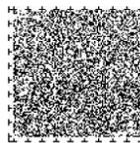
今回は3つのグループに分かれてじっくりと話し合いました。様々な世代の方が集まり、意見を交わしました。



↑世田谷みどり33協働会議 事務局長 大坪 義明さんに、区内でご自身が実践されているさまざまな区民参加の事例や考え方についてお話を伺い、ワークショップのヒントにしました。

施設への関わり方といっても、利用者やサポートスタッフとしての参加から、事業の企画、運営への参画に至るまで、その形は様々です。冒頭で日本全国の様々な事例についてお話した後、まずは自分が区民利用施設にどのように関わっていきたいか、考えていただきました。

(ワークショップで出たアイデアは裏面でご紹介します！)



カテゴリ		あなたは区民利用施設にどのように関わっていきたいですか？
利用者として	参加者	自宅のようにゆっくりしたり、イベントを楽しんだり、幅広く利用したい
	発表	吹奏楽部の発表をしたい
サポート	イベントのサポート	イベント時の飾りつけを手伝ってみたい！（クリスマスツリーとか）
		若者が主体的に関われるものをサポートしたい
		ユニバーサルなイベント開催のサポート
	広報	区で活動している団体や施設のイベント等の情報をまとめて発信したい
		広場とかに花を植えてみたい 施設の掃除のお手伝いをボランティアでやる 子どもの居場所ができれば、見守りのサポートスタッフをしてみたい
事業の企画・推進役	イベント企画	企画などのメンバーとして参加したい
		月一イベントの運営、企画に関わっていききたい（映画、講演会など）
		中学生、高校生主体で音楽のイベントを企画したい
		子どもたち中心の屋台を開きたい（ゲーム、謎解きなど）
	バリアフリー	世田谷で生産された野菜やファーマーズマーケット、福祉施設で作ったものを売るお祭りを企画したい
	多言語	学校間交流だけでなく成人した障害者と学校、学生や児童との関わりを広げるサポートをする
コーディネーター		通訳のできる人を区民から募る（資格を持っていない子どもでも手伝える）
		芸術家や習い事の先生と市民をつなぐ コーディネーターとして関わりたい 利用者と区の調整を支援するハブとして活動したい
運営		企画・運営を市民と協働できるシステムの構築に関わりたい
		区民会館の運営協議会をつくり、関わりたい

カテゴリ	区民参加を促進するには、どのような仕組みがあったら良いでしょうか？
情報発信	ホームページ、LINEなどのSNSの活用 見やすい、わかりやすいデザインにする
	活動団体のデータベース化 各エリアの児童館などと連携し、施設の情報を提供し、区の企画を「知る」「関わる」きっかけをつくる
機材、撮影サポート	音楽イベントや展示などがあれば、オンラインで様子を撮影、配信し、全国に発信する
	機材を提供してもらって、学生が配信、撮影等をできるような仕組み、組織を作ってほしい
多世代の参加	学校と家庭以外の居場所として活用できると良い なるべく若い人（小・中学生、高校生、大学生）を参加者に入れる
	高齢の親と子が普通に利用できる仕組みを考えたい
居場所・たまり場	常にキッチンカーがきていれば、立ち寄る機会ができる
	いつ区役所に行っても、何かイベントをやっているほしい（展示・ショップなど）
コーディネーター	コーディネーター（区とも調整できる人）がいると良い

カテゴリ	令和7年度のグランドオープン前に取り組んでおくことはありますか？
プレイベント	実行委員を募り会合を開き、目的や内容を検討する プレイベントや飾りつけのボランティアを募集する
	企画の進捗状況が見えると良い
	区内の中学、高校、大学、NPOを対象にプレイベント企画コンペを行い、学生自ら発信する
施設の周知	グランドオープン前に、どんな風に利用できるか ホームページ等で改めて案内してほしい
	施設の中がどうなっているか、PR動画や360度画像をホームページで公開する
アクセス	アクセスが悪くなくても来くなる作戦を検討する
調査	アンケートやSNSで区民のやりたいことを調査する
世田谷らしさ	世田谷らしさを出したい！

「区民利用施設にどのように関わっていきたいですか？」というテーマでは、利用者としての参加だけではなく、イベントや広報等をお手伝いする「サポートスタッフ」や、イベント企画やコーディネーター等の「事業の企画・推進役」として関わりたいというご意見を多くいただきました！実際の活動をイメージしながら、「区民参加を促進するための仕組み」と「グランドオープン前に取り組んでおくこと」を考えていただいたところ、グループ内で意見を交換し、他の方の意見も参考にしながら、活動を具体化していくためのアイデアが生まれました。特に情報発信の大切さについては、区民参加を促進するための仕組みとしても、グランドオープン前の取り組みとしても大切という話題が複数のグループで挙がりました。

なんでもアンケート

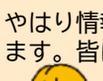
ワークショップ終了後に参加者の皆さんからいただいた感想・ご意見をご紹介します。



令和7年に向けて、夢を語るようなわくわく感がありました。若い方々の発想から学ぶ部分があり、刺激になりました。



色々な具体例や発表が聴けて良かった。今後もこのようなワークショップを開催してください。



やはり情報発信に力を入れたほうが良いと思います。皆に知ってもらおう工夫をお願いします。



若い方が多いグループでしたが、皆さんしっかりした意見で勉強になりました。



様々な視点で話し合うことができ、自分自身の成長にも大きくつながったと思います。前回よりも話を深め合うことができました！



自分と全然違う意見がたくさん出てきて、難しい意見もありましたが、だからこそ、交流できてよかったなと思いました。

発行・お問合せ・作成

発行・お問合せ：生活文化政策部 市民活動推進課 区民交流・文化施設準備担当
〒156-0043 世田谷区松原六丁目3番5号 TEL 03-6304-3768/FAX 03-6304-3597
作成・編集：(株)シアターワークショップ

二次元
コード